



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブルボン

コード番号 2208 URL <https://www.bourbon.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）吉田 匡慶

問合せ先責任者 （役職名）取締役財務管理部長 （氏名）間島 孝弘 TEL 0257-23-2333

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	87,702	5.9	4,374	△11.3	4,777	△8.1	3,423	△7.0
2025年3月期第3四半期	82,824	10.0	4,932	150.7	5,200	134.5	3,682	129.0

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 3,940百万円（17.2％） 2025年3月期第3四半期 3,361百万円（89.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	141.63	—
2025年3月期第3四半期	153.14	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	99,712	64,502	64.7	2,668.39
2025年3月期	95,839	61,492	64.2	2,543.62

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 64,502百万円 2025年3月期 61,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	18.50	—	18.50	37.00
2026年3月期	—	20.00	—		
2026年3月期（予想）				22.00	42.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（2026年1月30日）公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	119,700	5.5	7,300	△2.3	7,700	1.5	5,700	2.4	235.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（2026年1月30日）公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	27,700,000株	2025年3月期	27,700,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	3,527,155株	2025年3月期	3,524,794株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	24,173,828株	2025年3月期3Q	24,047,425株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外情勢不安や為替相場等の影響から先行き不透明感が依然として残っているものの、好調な企業収益や所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、菓子・飲料・食品業界は、原材料価格の高止まりから各種コスト上昇への対応と実質賃金が物価上昇に追いつかない状況下において、お客様の節約志向への対応が求められました。

このような中、当社グループでは食品製造企業として品質保証第一主義に徹し、安全で安心な実質価値の高い商品の安定した供給と、消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など、顧客満足度の向上に向けた活動を一貫して推進しました。また、ベトナムの現地企業とカカオ原料生産地域の開発および安定調達に向けた覚書を締結し、昨今の不安定な原料調達環境の改善と地域の持続可能な発展への寄与を目的として活動を開始しました。

その結果、競争激化により伸び悩んだ品目があったものの、主力のビスケット品目などが順調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。利益面では、生産性の向上とコストの削減、経費の効率的な使用に継続して努めたものの、売上原価の上昇を吸収するまでには至らず、営業利益は前年同期を下回りました。経常利益ならびに親会社株主に帰属する四半期純利益は、為替差益を計上したものの、営業利益の伸び悩みに伴い前年同期を下回りました。

営業品目別の概況

菓子の合計売上高は、83,871百万円（対前年同期比105.5%）となりました。

菓子では、ビスケット品目を中心として、豆菓子、キャンデー、デザート、米菓、スナック、チョコレートなどの品目を展開しています。

ビスケット品目は、シガレットタイプのラングドシャクッキー「ルーベラ」を3年ぶりに発売しご支持をいただきました。加えて、“オリジナルビスケット”シリーズのTVCM投入と店頭での拡売を図り、シリーズ全体の底上げを図りました。さらには、節約志向が続く状況下で、選ぶ楽しさを提供するプチシリーズや“スタンダードビスケット”シリーズ、ケーキアソート商品「4種のスイーツミックス」にご支持をいただいたことに加え、「セブーレ」などの“ホームカフェビスケット”シリーズの拡売を図りました。

チョコレート品目は、当社のロングセラー商品「ホワイトロリータ」を食べやすいサイズにした「ひとくちホワイトロリータ」をルート限定で先行発売しました。また、「アルフォートミニチョコレートくちどけ苺」を発売し品揃え強化を図り、プロモーション展開を行うとともに既存品の拡売に努めご支持をいただきました。加えて、期間限定の商品“生チョコレート”シリーズや“生チョコトリュフ”シリーズ、“冬トリュフ”シリーズを展開し季節ならではの味わいを楽しめる商品展開を行いました。

キャンデー品目は、“フェットチーネグミ”シリーズで独自の製法を応用した2列構造の商品「フェットチーネグミFUSIONカベルネ&ブラッドオレンジ味」を発売しブランドの底上げを図るとともに、発売15周年を記念し、本社所在地である柏崎市の高校生とともに作り上げた特別なCM展開を行い、プロモーションに取り組みしました。また、エアイングミの“しゃりもにグミ”シリーズでは、甘酸っぱく濃厚な味わいの「しゃりもにグミりんご味」を発売し、品揃えの強化を図りました。

菓子全体の売上高は、競争激化の影響を受けた品目があったものの、節約志向に対応した商品展開等を進めたことから、前年同期を上回りました。

飲料・食品・冷菓・その他の合計売上高は、3,830百万円（対前年同期比114.3%）となりました。

飲料品目は、防災意識の高まりによる備蓄需要やパッケージのキャラクターデザインがご好評をいただいたことなどから、ミネラルウォーター商品群にご支持をいただきました。また、「牛乳でおいしくこだわりココア缶180」などのソフトドリンク商品群の取り扱いが拡大しました。

食品品目は、簡便・時短ニーズを満たす食品シート“かんたんクッキング”シリーズの拡売を図りました。また、粉末ココア商品が取り扱い拡大に伴い順調に推移しました。機能性食品では“スローバー”シリーズが品揃え強化により順調に推移したことに加え、機能性表示食品「肌サバココア」の取り扱いが拡大しました。

冷菓品目は、ルート限定商品の展開などを図り“ルマンドアイス”シリーズの認知向上を図りました。また、既存商品の拡売とともに、カップアイスの「ルマンドde克蘭チクレープショコラコーヒ」を展開し品揃えの強化を図りました。

その他では、通信販売事業は、季節や催事に合わせた企画商品やオリジナル商品などメーカーならではの品揃えにより買い上げ点数の増加を図るとともに、サービス品質の向上を進めリピーターの増加と継続的な販路拡大に取り組みしました。

自動販売機事業は、設置場所の見直しを行うとともに電子マネー端末の普及拡大を進め、自動販売機1台当たりの収益性向上や利便性の促進に取り組んだほか、交通拠点や学校関連施設を中心に新規開拓に努め、売上の底上げを図りました。

酒類販売事業は、インパクトある苦味が特徴の期間限定商品「ダブルドラゴンIPA」を発売し、エチゴビールブランドの認知向上を図ったことに加え、輸出商品や飲食店ルート向け商品が順調に推移しました。

飲料・食品・冷菓・その他全体の売上高は、前年同期を上回りました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は87,702百万円（対前年同期比105.9%）、営業利益は4,374百万円（対前年同期比88.7%）、経常利益は4,777百万円（対前年同期比91.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,423百万円（対前年同期比93.0%）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は50,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,794百万円増加となりました。これは主に、季節変動要因による受取手形及び売掛金の増加ならびに原料高騰による原材料及び貯蔵品の増加があったことによるものです。固定資産は49,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円増加となりました。

この結果、総資産は99,712百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,873百万円増加となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は26,869百万円となり、前連結会計年度末に比べ984百万円増加となりました。これは主に、原料高騰による支払手形及び買掛金の増加と賞与の支給による賞与引当金の減少があったことによるものです。固定負債は8,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ121百万円減少となりました。

この結果、負債合計は35,210百万円となり、前連結会計年度末に比べ863百万円増加となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は64,502百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,010百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と剰余金の配当ならびにその他有価証券評価差額金の増加があったことによるものです。

この結果、自己資本比率は64.7%（前連結会計年度末64.2%）となりました。

（3）当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は15,941百万円となり、前連結会計年度末（17,391百万円）に比べ1,449百万円減少となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3,190百万円（前年同期2,676百万円の収入、対前年同期比119.2%）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4,799百万円および減価償却費4,037百万円と、売上債権の増加額2,566百万円および棚卸資産の増加額2,508百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3,322百万円（前年同期4,099百万円の支出、対前年同期比81.1%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,135百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,362百万円（前年同期1,298百万円の支出、対前年同期比104.9%）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出232百万円およびリース債務の返済による支出198百万円ならびに配当金の支払額930百万円があったことによるものです。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年4月25日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想及び期末配当予想を修正しております。

詳細につきましては、本日付けで「2026年3月期通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますのでご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,391	15,959
受取手形及び売掛金	14,771	17,340
商品及び製品	5,341	5,325
仕掛品	790	1,146
原材料及び貯蔵品	7,440	9,620
その他	563	717
貸倒引当金	△3	△21
流動資産合計	46,294	50,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,414	17,828
機械装置及び運搬具（純額）	13,194	13,382
その他（純額）	10,040	9,018
有形固定資産合計	40,649	40,230
無形固定資産		
のれん	519	433
その他	987	906
無形固定資産合計	1,507	1,340
投資その他の資産		
その他	7,388	8,053
投資その他の資産合計	7,388	8,053
固定資産合計	49,545	49,623
資産合計	95,839	99,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,169	14,271
短期借入金	810	810
未払法人税等	1,747	697
賞与引当金	1,477	538
その他	9,680	10,551
流動負債合計	25,884	26,869
固定負債		
社債	300	300
長期借入金	2,055	1,822
役員退職慰労引当金	288	290
退職給付に係る負債	4,934	4,889
負ののれん	7	6
その他	875	1,031
固定負債合計	8,462	8,340
負債合計	34,347	35,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	7,108	7,108
利益剰余金	53,947	56,440
自己株式	△903	△903
株主資本合計	61,189	63,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	957	1,740
為替換算調整勘定	△961	△1,164
退職給付に係る調整累計額	306	243
その他の包括利益累計額合計	303	820
純資産合計	61,492	64,502
負債純資産合計	95,839	99,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	82,824	87,702
売上原価	61,794	66,429
売上総利益	21,030	21,272
販売費及び一般管理費	16,097	16,898
営業利益	4,932	4,374
営業外収益		
受取利息	3	20
受取配当金	82	89
持分法による投資利益	53	4
為替差益	80	221
負ののれん償却額	1	1
その他	91	111
営業外収益合計	313	449
営業外費用		
支払利息	16	24
減価償却費	17	10
その他	11	12
営業外費用合計	45	46
経常利益	5,200	4,777
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	475	64
特別利益合計	476	65
特別損失		
固定資産処分損	8	0
減損損失	12	5
投資有価証券評価損	27	37
100周年記念事業費	300	—
その他	0	—
特別損失合計	349	43
税金等調整前四半期純利益	5,326	4,799
法人税、住民税及び事業税	1,486	1,099
法人税等調整額	157	275
法人税等合計	1,644	1,375
四半期純利益	3,682	3,423
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,682	3,423

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,682	3,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△225	783
為替換算調整勘定	△56	△203
退職給付に係る調整額	△39	△62
その他の包括利益合計	△321	516
四半期包括利益	3,361	3,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,361	3,940
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,326	4,799
減価償却費	3,879	4,037
のれん償却額	85	85
受取利息及び受取配当金	△86	△110
負ののれん償却額	△1	△1
支払利息	16	24
持分法による投資損益 (△は益)	△53	△4
為替差損益 (△は益)	△109	△208
投資有価証券売却損益 (△は益)	△475	△64
固定資産処分損益 (△は益)	8	0
減損損失	12	5
投資有価証券評価損益 (△は益)	27	37
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,312	△2,566
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,095	△2,508
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,364	2,092
未払費用の増減額 (△は減少)	△303	199
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△25	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△121	△137
その他	△977	△436
小計	4,159	5,246
利息及び配当金の受取額	86	110
利息の支払額	△16	△24
法人税等の支払額	△1,553	△2,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,676	3,190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,440	△3,135
投資有価証券の取得による支出	△410	△120
投資有価証券の売却による収入	986	73
関係会社出資金の払込による支出	—	△44
その他	△235	△95
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,099	△3,322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400	—
長期借入金の返済による支出	△232	△232
社債の償還による支出	△100	—
リース債務の返済による支出	△153	△198
配当金の支払額	△768	△930
自己株式の売却による収入	356	—
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,298	△1,362
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,713	△1,449
現金及び現金同等物の期首残高	19,575	17,391
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,861	15,941

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業は、食品製造企業として同一セグメントに属する、ビスケット類、米菓類等の菓子及び飲料食品等の食料品の製造・販売並びにこれらの付随業務であり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。